

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

6月号 2020. 6. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marrows.or.jp/chiba/>

新任 萩野薬務課長のご挨拶



萩野良雄 薬務課長

千葉県健康福祉部薬務課長の萩野でございます。
千葉骨髓バンク推進連絡会の皆様には、日頃から骨髓移植等の推進について多大なる御尽力をいただき厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に関しては、国の緊急事態宣言が5月25日に解除されたことに伴い、本県においても外出自粛の要請等の措置について対応が見直されました。県としても第2波に備えた準備をしっかりと行ってまいります。さて、県では、ドナー登録者を増やすため、これまで成人式等の機会でのパンフレットの配布や主要駅でのポスター掲示などの普及啓発活動や、ドナーが骨髓等を提供しやすい環境を整備するためのドナー支援事業を実施するとともに、昨年からは、説明員増員に向けた説明会の支援を開始いたしました。ドナー支援事業につきましては現在 43 市町村が実施しておりますが、全市町村で実施されますよう引き続き働きかけてまいります。

今後とも、千葉骨髓バンク推進連絡会の皆様と連携しながら、ひとりでも多くの患者さんが希望どおり骨髓移植等を受けることができるようより一層努力してまいります。

最後に、これから暑くなっていくことと思いますが、皆様の御健康を祈念しまして挨拶とさせていただきます。

第 30 回 千葉骨髓バンク推進連絡会 定期総会 5月10日(日) 会長 梅田正造

コロナウイルスの感染防止対応で4月7日(火)に「緊急事態宣言」発令され以降自粛が続きました。千葉の会では今年の通常総会は設立 30 周年の節目の総会で、5月10日(日)に船橋市勤労市民センターで開催すべく準備を進めてまいりましたが、宣言が解除されず会場が休館のため、ZOOM (パソコンやスマートフォンを使って、会議やミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリ) を使って初めての電子会議を開催しました。

事前に何回か練習を行い、当日は総会前に5月度の定例会を行い、引き続き 14 名の出席者と 16 名の委任状を頂き総会を開催しました。無事全ての議事は承認されました。尚、千葉県では「緊急事態宣言」がやっと5月25日(月)に解除されましたが、休業要請は一部業界ではまだ続いている状況です。

◆議事

議事 (1) ～ (7) 「2019 年度事業報告・決算報告・監査報告、2020 年度事業計画 (案)・予算 (案)、役員改選、規約改正」は、承認された。

◆2020 年度 活動方針

コロナの様子を見つつ以下を実行して参ります。①設立 30 周年記念医療講演会を開催します。また昨年に引き続き ②登録会の自粛が解除になったら若いドナー登録者を増やすため多くの献血併行登録会を開催すると共に ③ドナー助成制度の導入を未導入の市町村に働きかけます。④ドナー休暇制度は去年導入を県内経済関係団体に働きかけたので、今年は可能であればフォローをお願いします。④「コンサートと落語会」を開催します。⑤ケア帽子に新たにマスクの製作を加え、患者さん等に寄贈します。

◆2020 年度 運営委員の役割分担

- *会長・運営委員長 (総括) 梅田正造
- *副会長
溝口理文 (ドナー助成・休暇制度、コンサート、医療講演会担当)
小泉治彦 (ホームページ担当)
遠山将一 (会の運営全般補佐)
柴谷みち子 (登録会、パネル展、幸せの黄色いレシート担当)
西島隆史 (コンサート協賛金担当、説明員拡充担当)
- *事務局 北村美和子 (事務局長、会計、会報印刷・発送)
- *監事 牛島英二

◆「千葉の会の 19 年度の活動実績と今後の課題」

パワーポイント資料を説明した。(以上総会資料は HP ご参照)



ライオンズクラブのご紹介

千葉の会が常日頃献血併行登録会で大変お世話になっているライオンズクラブさんですが、全国協議会の各団体も各地で協力関係にあるところが多いわりには、意外とその組織についてご存じない方が多かったので、その紹介をします。

ライオンズクラブは、1917年にシカゴのビジネス界のリーダーであったメルビン・ジョーンズ氏が、地域社会の改善に「奉仕」しようという目的で設立した団体です。以降 100 年を経て、今や世界に 45,000 を越えるクラブを有し、130 万人以上の会員を擁する世界最大の奉仕クラブ組織に発展しました。LIONS の意味は「Liberty Intelligence Our Nation's Safety」(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)の頭文字を並べたもので、これがライオンズクラブのスローガンとなっています。奉仕活動は、社会が必要とする全方位にわたり、地球環境問題改善、献血・骨髓バンクへの協力、献眼・献腎など臓器移植、薬物乱用防止等々多岐に渡っています。

世界各国のライオンズクラブ (国際協会) は 7 つの会則地域に分かれており、「日本ライオンズ」は東洋東南アジア (第 5 会則地域) に所属しています。更に日本ライオンズは 8 つの複合地区に分割されています。千葉は 333 複合地区に所属しており、C 地区 (準地区) になります。(ちなみに東京は 330-A 地区) 333-C 地区は、ガバナーが小高左起子氏で、128 のクラブが所属しておりこの 2 月末の会員数は、3,183 人になります。(梅田正造)

登録会報告

千葉県庁 4月2日(木) 説明員 志田和子

登録者2名、説明者0名の結果でした。初めの登録者は女性で日赤さんの献血受付の方で「今日は受付が空いているので登録します」と機会を待っていた様でした。次の方は男性で「仕事が忙しくて登録の機会がなく49歳になってしまいました」と話されました。受付では登録の呼びかけをして下さり、既登録者が5名もおりました。例年とは違って、年度初めの挨拶回りの人達の姿も見られず、人の行き来も少ない静かな1日でした。庁内放送は有りましたが反応は少なく献血者も23名と少なく、担当者が嘆いておりました。(志田和子)



千葉県庁 4月3日(金) 説明員 北村美和子

登録者2名、説明者0名の結果でした。一人目の献血者は10時半過ぎに見えました。その後もぼつぼつという感じで混み合う事は有りませんでした。ドナー登録は午前午後1名ずつでどちらも50代女性でした。午前中の方はパンを買いに来て通りかかりに献血に寄り、声掛けをすると即登録して下さり嬉しく思いました。「朝ドラ(骨髄バンク設立運動を取り上げたNHK連続テレビ小説「スカーレット」)観てたわよ」と話されました。午後は職員さんでした。館内放送は午前午後ドナー登録のアナウンスが有りましたが、人があまり通らず、献血受付でも声を掛けてくれましたが献血も少なめで残念でした。明日明後日は週末の商業施設臨時休業に伴い献血中止の会場もあり、日赤さんも対応に追われているようでした。(北村美和子)



令和2年4月献血併行登録会

登録会報告(会場)	4月	登録者数	説明受講数	説明員
千葉県庁	2日(木)	2	0	志田和子
千葉県庁	3日(金)	2	0	北村美和子
柏献血ルーム	11日(土)	以下新型コロナウイルスの為中止		戸辺信晴 柴谷みち子
JR新浦安前	12日(日)			北村美和子 萩原匡祐
フルルガーデン八千代	18日(土)			志田和子
柏献血ルーム	18日(土)			戸辺信晴 柴谷みち子
イオンモール千葉ニュータウン	19日(日)			柴谷みち子
匝瑳市民ふれあいセンター	21日(火)			北村美和子
君津市保健福祉センター	21日(火)			柴谷みち子
松戸献血ルーム	21日(火)			戸辺信晴
市原市役所	22日(水)			西島隆史 西島一恵
津田沼献血ルーム	22日(水)			柴谷みち子
船橋献血ルームフェイス	23日(木)			北村美和子 志田和子
成田市役所	24日(金)			溝口理文 北村美和子
モノレールちば駅献血ルーム	24日(金)			西島隆史 西島一恵
フルルガーデン八千代	26日(日)			柴谷みち子
木更津市役所	28日(火)			西島隆史 西島一恵
了徳寺大学	28日(火)			北村美和子
合計		4	0	

新型コロナウイルスの影響による登録会中止

日赤さんからコロナウイルスによる登録会中止の第一報は2月19日に入り、26日の2会場が献血自体中止となりました。2月末に3月の登録会予定表を日赤さんに連絡後、3月8日(日)定例会での調整を待たずに、登録会中止連絡が入り続け36会場中9会場が中止となりました。

3月に入り次々に献血自体の中止が入り、その度に患者さんへの輸血等に影響が及ぶのではないかと心配になりました。

4月予定表は3月19日に頂き、説明員の皆様が登録会場への参加申込をされ、その結果を29日に日赤さんに連絡しましたが、翌30日には8大学、延べ18日間の登録会中止の連絡が飛び込みました。

4月5日までメールで登録会場と参加者の調整をし、最終決定内容を財団、県業務課、日赤の三者に報告しました。翌6日夕方に財団から『「緊急事態宣言」が出たら当面の間、献血併行登録会を見送ることになります』との連絡が有りましたが、その翌日7日に「宣言」が出たため登録会は全て中止となりました。

特に千葉大学を初めとする各大学での中止は、献血者の減少と共に若いドナー登録者が無くなるため、胸がとても痛みました。

日赤さんが献血会場の工面にご苦労されていると伺い、一日も早く献血併行登録会でまたご一緒できる事を念じております。(柴谷みち子)

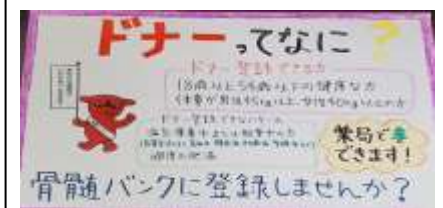
もみのき薬局での「登録説明会」

昨年、骨髄バンクドナー登録説明員資格を薬局単位で取得させていただいた後、薬局内外への掲示物作成や毎月薬局内で開催している健康サポート教室と同時開催で骨髄バンクドナー登録説明会を開催させていただいております。

- 実際、啓蒙を始めてみて感じたことは、
- ・骨髄バンクというものの認知がまだ低いということ
 - ・来局される方は高齢者が多く、なかなか対象者に直接お話できるタイミングがないことです。

現在コロナウイルスの影響もあり、ゆっくりと患者さんとお話できる時間が持たない現状ではありますが、上記の点に対する策として、地道な啓蒙活動あるのみと考えております。今でこそ大盛況の健康サポート教室ですが、最初は2、3人からのスタートでした。今後は、説明員一人ひとりが外部の説明会に参加させていただき、より理解を深めながら、根気よく薬局での啓蒙を続けていきたいと考えております。

(もみのき薬局 薬局長 篠原沙織)



ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナーさんが移植に向けての不安に対応します。

(認定特定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

ボランティア・会員募集

ボランティアとして出来る事が色々あります。骨髄バンク登録だけではありません。何かやってみたくなったら、お気軽に連絡下さい。

TEL/FAX 043-497-5083 事務局 北村まで

全国骨髓バンク推進連絡協議会の「設立 30 周年記念式典」と「2020 年度通常総会」

30 周年記念式典 5 月 30 日 (土)

梅田正造

全国協議会も千葉の会と同様に今年度設立 30 周年を迎え、5 月 30 日 (土) に四谷区民ホールで来賓を招き盛大に「30 周年記念ボランティアの集い」を開催すべく準備を進めてきましたが、新型コロナウイルスの感染防止のため、「集い」の内「記念講演とシンポジウム」はコロナが事態収束まで延期とし、「記念式典」のみを 5 月 30 日 (土) 13 時から ZOOM 開催としました。仲田会長以下約 50 人が参加し、千葉の会からは、北村美さん、柴谷さん、梅田 (全国協議会副理事長) が参加しました。

◆記念式典

*主催者挨拶 特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会会長 仲田順和

*来賓祝辞 (お名前紹介)

厚生労働大臣 加藤勝信様、骨髄・さい帯血バンク議員連盟会長 野田聖子様、
東京都知事 小池百合子様、新宿区長 吉住健一様、
公益財団法人日本骨髄バンク理事長 小寺良尚様、
日本赤十字社血液事業本部長 高橋孝喜様

*感謝状贈呈 (お名前紹介)

32 の団体、会社、個人。代表で高松グリーンロータリークラブの感謝状を讀上げ。

*「ハンドブック白血病と言われたら」(改定第 6 版)

野村正満編集長 (副会長) が完成報告をした。上巻「白血病と闘おう」、これから白血病と闘うために必要な情報を多岐にわたり掲載 下巻「血液の病気を知ろう」血液の病気についてさらに詳細な解説や治療法について掲載 何れも A4 サイズ、フルカラーで、全国協議会の HP (<https://www.marow.or.jp/>) から無料でダウンロードできる。



2020 年度通常総会 5 月 30 日 (土)

梅田正造

記念式典に引き続き 2020 年度の通常総会を ZOOM で開催しました。総会には正会員 14 名、役員 14 名、事務局 5 名の 33 名が出席しました。千葉の会からは、北村美さん、梅田 (全国協議会副理事長) が参加し、北村美さんが議長に選出されました。

◆議事第 1~5 号議案 「2019 年度事業報告・決算報告・監査報告、2020 年度事業計画 (案)・予算 (案)、定款の変更」は、各担当副理事長 (梅田、若木、村上、山村) からの説明後、質疑応答があり、全ての議案が承認された。



仲田順名会長



田中重勝理事長



北村美和子議長



話題の医療ニュース ~ i P S 細胞 進捗と今後の展望 (AMED 再生医療公開シンポから) ~

本年 2 月 5 日 (水) に行われました AMED (日本医療研究開発機構) 再生医療公開シンポジウムに参加しました。シンポジウムの記録集を参考にご紹介します。

この中、山中伸弥先生から i P S 細胞ストック事業の進捗報告がありました。拒絶反応の少ない特殊な方からご提供いただき、i P S 細胞研究所で臨床用の細胞を作るクリーンルームで臨床に使える細胞を作り、あらかじめゲノム検査などの品質評価を徹底的に行って、凍結保存しストックしたものを、いろいろな先生に提供する事業です。

これまでに 4 種類の免疫型をカバーする i P S 細胞を全部で 7 人のドナーから、合計 27 種類の i P S 細胞を作成し提供しており、日本人のおよそ 40%、大体 5,000 万人ぐらいに提供できるところまで来ているとのことでした。高橋政代先生の高齢黄斑変性はじめ多くの臨床研究などに使われています。

この事業も間もなく 8 年目を迎え、大学の先生方には無償で、企業の方には 1 株 10 万円で提供しているそうです。実際は数千万円かかっているとのことでした。

また課題もたくさんあり、残りの 60% の日本人をどうカバーするか。日本人以外の世界の方をどうするか。いろいろなアプローチがありますが、ゲノム編集という免疫のタイプを書き換えてしまう方法が実用化されているので、この方法をストックで作った i P S 細胞に加えることによって、10 種類程度の株で日本人の残り 60%、さらには世界中の人々をカバーできる細胞を提供できるという見込みも立っているとのことでした。

以上ドナー登録会で、本事業協力同意に関する説明をしているので、紹介しました。(溝口理文)

会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。皆様のご支援とご協力をお願い致します。

年会費 3,000 円 (学生 1,000 円)
振替口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会
口座番号 00160-6-547168

※毎月開催している定例会に持参していただいても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2020年4月末現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	528,797	-291	+16,022	18,006	+111	+1,287
累計患者登録者数	59,155	+438	+2,751	2,269	+8	+85
累計移植例数	24,323	+196	+1,216	773	+3	+31

献血への思い (献血 100 回を達成して)

梅田正造

初めての献血は、東京で1968年高校2年の時、同級生(男子友人)の母親が駒沢の国立第二病院(現国立病院機構 東京医療センター)に入院していて、血液が必要とのことで日赤の広尾病院(現日本赤十字社医療センター)でしました。献血の帰りにそのお母さんのお見舞いのため友人と第二病院の廊下を歩いていると、ある病室前で女性患者の名前が目に飛び込んできました。偶然にも同じく同級生で何か月も休んでいる私の前の席の子の名前でした。たまたま同姓同名のこともあるので、ナースセンターで尋ねるとその子でした。2年に進級して同じクラスになって直ぐに欠席したので、あまり話したことはなかったのですが、友人と急遽花を買ってお見舞いに行き、しばし学校のことを話しました。何か月かしてその子が亡くなったことを聞きクラスの全員で葬儀に行きました。病名は「白血病」でした。

1975年に石油化学会社に入社して、配属となった千葉工場で4月21日に久しぶりに献血をしました。東京で作った献血手帳は見当たらなかったのが数回分は無カウントとなり、千葉県赤十字血液センターで作った献血手帳が献血カウント1回目になりました。以降年に1~2回ペースで400mlの社内献血を行っていました。

私はどちらかと言うと会社人間タイプで仕事に入れ込むあまり1989年頃過労で体調を壊しました。その直後の1990年5月に母親がくも膜下出血で急死したこともあり、人生を振り返り何か社会に役立つことをしようとの考えに至りました。丁度その頃1991年2月に会社の同僚が千葉骨髄バンク推進連絡会を設立したのをきっかけに、8月に入会し、骨髄バンク活動を開始しました。献血も同年12月から成分献血を中心として、HLA(白血球型)の合う患者さんに提供するようになりました。

1995年2月には骨髄ドナーにもなりました。しかし、1999年7月の血小板献血(71回)の後、72回目の献血で血圧が230mmHgあって献血ができず、高血圧の薬と尿酸を抑える薬を飲むことになり、薬が献血OKになる13.5.16(72回目)まで14年間も献血ができなかったのは大変残念なことでした。献血再開後は17.12.31に退職するまで会社で400ml献血を、以降は成分献血を行い、20.5.14に記念となる100回を達成しました。8.1に69歳の献血定年まで後5回行うつもりです。



金色有効章 (94.7.1)

感謝状

(13.7.25)

ガラス杯 (20.5.14, 13.7.25)

献血100回達成 (20.5.14 モノレールちば駅献血ルーム)

こいこいの 宇宙と地球の随想記 4th シーズン「化石の巻」

第2回 生命の起源 ~どこで、どうやって生まれた~

火星では、NASAの探査車「キュリオシティ」が生命の探査をはじめ様々な調査を続けています。地球以外の惑星で生命が見つかる日は来るのでしょうか。

その昔、ばい菌やネズミなどは自然に生まれてくると考えられていた時代がありました。生物の自然発生説を完全に否定したのが、有名なパスツールの“白鳥の首”の形をしたフラスコによる実験です。生物についての研究は飛躍的に進み、20世紀半ばにはワトソンとクリックによって、生命の設計図ともいえるDNAの構造モデルが提唱されました。生物の機能と構造が次々と明らかにされる一方で、生命の起源については謎が深まるばかりです。生命の元になるものが宇宙からもたらされたという説は“パンスペルミア説”と呼ばれ、その可能性も否定されていません。現時点で有力な候補とされるのが、深海の熱水噴出孔(300℃もの熱水が噴出している場所)の周りで化学合成が進んで最初の生命が誕生したとする説です。

最近ではロケットで望遠鏡が宇宙に打ち上げられ、太陽系以外の惑星系の探索も進んでいます。地球での生命の起源の解明より先に、地球外で知的生命体が発見される日がやってくるかもしれません。(H.K.)

ドナー登録会

千葉県のコロナウイルスの緊急事態宣言は5月25日(月)に解除されました。中止されていた献血併行登録会の再開について、現在千葉県赤十字血液センターと6月度の登録会日程を調整中です。

医療講演会

9月26日(土) 船橋市中央公民館で開催を準備中でしたが、コロナウイルスの感染防止のため中止としました。

定例会

6月7日(日) 14時からZOOM会議

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

こころからのご寄付、ありがとうございます。

佐藤秀哉様 20,000円

佐野正枝様 2,000円

川井寿江様 2,000円

西原さよ子様 10,000円



<編集後記>

この数ヶ月、毎日のようにコロナウイルス関連のニュースが飛び交い、日常生活も一変しました。闘病中の患者さん達も大きな不安を抱えていると思います。緊急事態宣言の解除に伴い、「新しい日常」がスタートしました。新しい生活様式に基づいて一人ひとりが長期に亘る感染防止対策を実施していく必要があります。自分たちが感染を防ぐことが医療崩壊を防ぎ、患者さんを守ることに繋がるとの思いで、注意を払って乗り越えていきましょう。

そしてまた、元のように活動再開できますように!

(北村美)